

【消 防】

予 防

1 防火広報等

全国火災予防運動実施期間中に防火協会や女性防火クラブなどの防火関係団体と連携し、街頭広報を実施したほか、路線バスの行先表示器への「火災予防運動実施中」の表示、沼津市出身の女子レスリング選手、森川美和さんに一日消防署長を委嘱し開催した「火災予防フェア2024」などの火災予防広報を実施しました。

(1) 火災予防運動等実施期間

- ア 危険物安全週間 令和6年6月2日から令和6年6月8日まで
- イ 秋季全国火災予防運動 令和6年11月9日から令和6年11月15日まで
- ウ 春季全国火災予防運動 令和7年3月1日から令和7年3月7日まで

(2) 火災予防運動等実施期間中の実施内容

- ア 愛鷹運動公園における「火災予防フェア2024」の開催
- イ ららぽーと沼津における住宅防火調査の実施
- ウ 女性防火クラブ及び防火協会との連携による街頭広報
- エ 管内の小学生を対象とした防火ポスターコンクールの開催及び防火カレンダーの作成
- オ 宅配クック123沼津三島店の協力による火災予防広報
(配達車両への「火災予防運動実施中」の掲示及び利用者への火災予防リーフレットの配布)
- カ 商業施設の館内放送を活用した火災予防広報
- キ 沼津駅前ラクーンビジョンを利用した火災予防広報
- ク 路線バスの行先表示器への「火災予防運動実施中」の表示(3社)
- ケ 沼津駅前地下道ショーケースを利用した防火ポスターの掲示
- コ ラジオ局、ケーブルテレビ局を活用した火災予防広報
- サ 防火協会加入事業所への「危険物安全週間実施中」のぼり旗の掲揚(13事業所)
(危険物安全週間)

(3) その他

- ア 「火災予防かわら版」の発行
- イ 「野焼きに関する注意喚起リーフレット」の発行
- ウ 「住宅防火広報用リーフレット」の発行

2 消防設備

建築物の新築、増・改築、用途変更の建築確認申請に伴う消防同意及び消防法令に基づく消防用設備等の設置指導を実施しました。

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和6年度	増減
消防同意（建築物の調査及び安全指導）	382	355	△27
消防法令に基づく消防用設備等の完成検査	864	951	87

3 査察

年間査察計画に基づき、防火対象物及び危険物施設に対する定期査察を実施しました。

また、利用者がその建物の利用を防火の安全性から判断できるようにするとともに、建物関係者による防火管理業務の適正化及び消防用設備等の適正な設置を促進することを目的とする「違反対象物公表制度」により、重大な消防法令違反がある防火対象物をホームページ上に公表しました。

(1) 立入検査（防火対象物）

(単位：件)

市 町	令和5年度	令和6年度	増減
沼 津 市	1,776	1,520	△256
伊 東 市	689	683	△6
伊 豆 市	205	266	61
伊 豆 の 国 市	326	353	27
東 伊 豆 町	112	144	32
函 南 町	183	177	△6
清 水 町	162	184	22
合 計	3,453	3,327	△126

(2) 立入検査（危険物施設）

(単位：件)

市 町	令和5年度	令和6年度	増減
沼 津 市	120	100	△20
伊 東 市	50	55	5
伊 豆 市	56	30	△26
伊 豆 の 国 市	19	33	14
東 伊 豆 町	8	14	6
函 南 町	15	13	△2
清 水 町	7	16	9
合 計	275	261	△14

(3) 違反対象物公表制度

公表した防火対象物数 2 件

是正された防火対象物数 0 件

4 危険物

消防法令に基づき危険物施設（製造所、貯蔵所及び取扱所）の許可、完成検査等を実施しました。

(1) 危険物施設

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和6年度	増減
設置・変更許可	100	88	△12
設置・変更完成検査	95	86	△9
仮使用承認	76	66	△10
水圧（水張）検査	3	5	2
仮貯蔵・仮取扱承認	19	20	1
合 計	293	265	△28

(2) 煙火消費

(単位：件)

区 分	令和5年度	令和6年度	増減
許可件数	56	58	2
届出件数	65	58	△7

※ 煙火を消費する場合には、その「種類」及び「数量」により県知事から権限移譲された市町村長等の許可が必要となっております。

許可を要しない煙火の消費の場合には、消防長に届出が必要となっております。

5 火災

令和6年中における火災件数は 126件で、前年と比較すると36件減少し、火災の種別ごとに見ると、「建物火災」が60件で全体の47.6%と最も多く、次いで枯草などが燃える「その他の火災」が49件（38.9%）発生しました。

火災による死者は4人で前年と比較すると1人減少し、主な出火原因としては、「たき火・火入れ・取灰」と「電気機器・電気装置」が同数で19件（それぞれ15.1%）、「たばこ」が17件（13.5%）、「放火・放火の疑い」が10件（7.9%）となっております。

(1) 火災件数

(単位：件)

市 町	令和5年中	令和6年中	増減
沼 津 市	74	46	△28
伊 東 市	19	26	7
伊 豆 市	17	22	5
伊 豆 の 国 市	20	15	△5
東 伊 豆 町	5	5	0
函 南 町	18	6	△12
清 水 町	9	6	△3
合 計	162	126	△36

(2) 火災種別（ ）内、令和5年中との増減

(単位：件)

市 町	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
沼 津 市	16(△19)	0(0)	10(△4)	0(0)	20(△5)
伊 東 市	19(10)	0(△1)	2(2)	0(0)	5(△4)
伊 豆 市	8(3)	1(0)	1(0)	0(0)	12(2)
伊 豆 の 国 市	10(△3)	1(1)	1(△1)	0(0)	3(△2)
東 伊 豆 町	3(△1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
函 南 町	1(△8)	0(△1)	1(1)	0(0)	4(△4)
清 水 町	3(△2)	0(0)	0(△1)	0(0)	3(0)
合 計	60(△20)	2(△1)	15(△3)	0(0)	49(△12)

(3) 焼損床面積

(単位：㎡)

市 町	令和5年中	令和6年中	増減
沼 津 市	559	674	115
伊 東 市	944	563	△381
伊 豆 市	117	601	484
伊 豆 の 国 市	758	561	△197
東 伊 豆 町	0	44	44
函 南 町	1,382	0	△1,382
清 水 町	35	309	274
合 計	3,795	2,752	△1,043

(4) 損害額

(単位：千円)

市 町	令和5年中	令和6年中	増減
沼 津 市	246,829	128,053	△118,776
伊 東 市	60,670	75,307	14,637
伊 豆 市	5,972	26,921	20,949
伊 豆 の 国 市	37,795	17,815	△19,980
東 伊 豆 町	330	1,665	1,335
函 南 町	55,001	43	△54,958
清 水 町	1,000	23,837	22,837
合 計	407,597	273,641	△133,956

(5) 死傷者（死亡）

(単位：人)

市 町	令和5年中	令和6年中	増減
沼 津 市	12(2)	14(1)	2 (△1)
伊 東 市	1(0)	6(2)	5 (2)
伊 豆 市	0(0)	2(1)	2 (1)
伊 豆 の 国 市	1(0)	1(0)	0 (0)
東 伊 豆 町	0(0)	2(0)	2 (0)
函 南 町	3(2)	1(0)	△2 (△2)
清 水 町	1(1)	0(0)	△1 (△1)
合 計	18(5)	26(4)	8 (△1)

(6) 出火原因別件数

(単位：件)

区分	たき火・火入れ・取灰	電気機器・電気装置	たばこ	放火・放火の疑い	電灯・電話等の配線	その他	不明	合計
令和5年中	24	11	24	21	9	63	10	162
令和6年中	19	19	17	10	8	43	10	126
増 減	△5	8	△7	△11	△1	△20	0	△36

警 防

1 消防車等の配備

沼津北消防署原分署に水槽付消防ポンプ自動車、田方中消防署に資機材搬送車、沼津南消防署大平出張所に連絡車、消防本部に査察車を配備しました。

令和7年3月31日現在

方面	車両 署所等	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ付水槽車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	高規格救急自動車	救助工作車	指揮車	多機能型災害対応車	水難救助車	重機搬送車	人員搬送車	火災調査車	支援・搬送車	救急普及啓発広報車	その他の車両	合計
本 部	企画課																	2	2
	総務課																	1	1
	予防課													1				3	4
	警防課									1								2	3
	救急課															1		1	2
	通信指令課																	1	1
第 1 方 面	沼津南消防署	1	2	1	1	1		2	1	1						2		3	15
	静浦分署		1					1			1					1			4
	内浦出張所		1															1	2
	大平出張所		1															1	2
	西浦出張所		1					1										1	3
	戸田出張所		1					1										1	3
	沼津北消防署	1		1			1	3	1	1				1		2		1	12
	原分署	1	2		1			1								2		1	8
	清水町消防署	1	1					2	1							1		1	7
第 2 方 面	田方中消防署		1	1	1	1		2		1	1					1		4	13
	田方北消防署	1	1					1	1				1	1		1		1	8
	田方南消防署	3						2								1	1	2	9
	西出張所		1					1										1	3
第 3 方 面	伊東消防署	2	1		1		1	2	1	1				1		3		3	16
	八幡野分署	1						1				1							3
	宇佐美出張所		1					1											2
	吉田出張所	1						1											2
	東伊豆消防署	1	1				1	2										2	7
合 計		13	16	3	4	3	2	24	5	5	2	1	1	3	1	15	1	33	132

2 出動件数

令和6年中における救助出動件数は、327件（前年比△51件）です。

事故種別出動件数は、「建物等による事故」が131件（40.1%）、「交通事故」が66件（20.2%）、「水難事故」が24件（7.3%）、「機械による事故」が4件（1.2%）、「火災」が4件（1.2%）、「自然災害」が2件（0.6%）の順となっています。

（単位：件）

事故種別	建物等による事故	交通事故	水難事故	機械による事故	火災	ガス及び酸欠事故	自然災害	破裂事故	その他	合計
5年中	149	68	27	7	5	1	9	0	112	378
6年中	131	66	24	4	4	0	2	0	96	327
増減	△18	△2	△3	△3	△1	△1	△7	0	△16	△51

救 急

1 出動件数

令和6年中における救急活動状況は、救急出動件数が27,999件（前年比177件）、搬送人員が24,527人（前年比422人）であり、事故種別出動件数は、「急病」が17,500件で最も多く、「一般負傷」が4,544件、「転院搬送」が3,676件、「交通事故」が1,243件の順となっています。

（単位：件）

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
5年中	145	11	45	1,365	199	102	4,378	48	172	17,455	3,404	498	27,822
6年中	109	9	39	1,243	174	114	4,544	55	171	17,500	3,676	365	27,999
増減	△36	△2	△6	△122	△25	12	166	7	△1	45	272	△133	177

2 現場到着時間及び病院収容所要時間

救急自動車による現場到着時間及び病院収容所要時間は、次のとおりです。

（単位：分）

		入電～現場到着	現着到着～搬送開始	搬送開始～病院到着	合計
沼津市	令和5年中	9.8	23.2	11.6	44.6
	令和6年中	9.4	21.4	11.8	42.6
伊東市	令和5年中	10.8	18.0	15.9	44.7
	令和6年中	10.3	16.7	15.7	42.7
伊豆市	令和5年中	14.0	23.7	18.7	56.4
	令和6年中	13.5	22.6	18.3	54.4
伊豆の国市	令和5年中	9.8	21.7	12.8	44.3
	令和6年中	9.7	22.0	12.3	44.0
東伊豆町	令和5年中	14.3	24.1	28.0	66.4
	令和6年中	13.9	22.9	26.0	62.8
函南町	令和5年中	12.7	20.7	15.4	48.8
	令和6年中	12.4	21.5	14.7	48.6
清水町	令和5年中	8.3	22.4	10.9	41.6
	令和6年中	7.9	20.7	10.1	38.7
全体	令和5年中	10.6	21.7	14.2	46.5
	令和6年中	10.2	20.7	13.8	44.7

3 救急教育

救急活動中の事故防止の徹底及び救急救命士を含む救急隊員の資質の向上を図るため、病院実習及び各種研修会を実施しました。

また、応急手当普及啓発活動として、学校、事業所、自治会等に救命講習を実施しました。

- (1) 救急救命士研修（対象者：92人）一人平均 100時間／年間（病院実習を含む）
- (2) 救命講習365回 7,874人

令和6年度救命講習実施状況

	入門45		入門90		普通Ⅰ		普通Ⅱ		普通Ⅲ		上級		普及員講習		普及員(再講習)		指導員(再講習)		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	4	64	7	89	5	84	2	28	3	45									21	310
5月	17	323	21	513	6	118	1	50	3	37	1	25							49	1,066
6月	22	523	23	424	9	210	2	28	9	177	1	30							66	1,392
7月	3	60	12	289	21	328	2	80	3	71	1	24	1	7					43	859
8月	4	116	3	54	11	211	2	65	3	41	3	77							26	564
9月	2	55	6	92	16	298	3	47	4	445	1	30							32	967
10月	1	14	8	153	6	100	3	47	1	14	2	67							21	395
11月	2	25	7	108	13	329			3	47									25	509
12月	9	183	1	30	15	344	2	41			2	32	1	9					30	639
1月	6	174	3	151	3	79	1	30	2	35			1	2					16	471
2月	1	20	3	43	9	214	1	15			1	21							15	313
3月	1	10	4	56	12	213	1	15	1	35	2	60							21	389
合計	72	1,567	98	2,002	126	2,528	20	446	32	947	14	366	3	18	0	0	0	0	365	7,874

4 主な訓練等

(1) 救急隊長研修

ア 目的

救急現場の最前線で業務を推進する救急隊長に、適正な業務遂行のため、現場対応能力や危機管理能力の向上を図ることを目的としています。

イ 実施日 令和6年6月25日（火）から令和6年6月27日（木）まで

ウ 参加者 82人（救急隊長ほか）

エ 内容

(7) 午前の部

- あ 「各方面の病院選定について」
- い 「救急現場での対応について（交通事故対応）」

(4) 午後の部

- あ 「無線とAVM」
- い 「チーム論及び指導技法」
- う 「時間短縮」
- え 「各MCのルール及び検証票の流れ等」
- お 「事後検証事案の検討」
- か 「救急現場での対応について」～暴力行為～

(2) 救急総合想定訓練

ア 目的

救命処置時や活動中の様々なトラブル等に対し「心理的安全性」を意識した活動を実践し、隊員間の連携強化により、適正かつ安全な活動につなげることを目的としています。

イ 実施日

令和6年10月22日（火）から令和6年10月24日（木）まで

ウ 参加者 171人（救急隊員）

エ 内容

救急隊全57隊による実践形式の活動訓練

通 信

119番通報受信概況

令和6年中の119番受信件数は37,216件(前年比△410件)で、1日平均101.7件(前年比△1.4件)を受信している。
火災・救急等の災害通報は、30,425件で全体の81.8%を占め、緊急性のない問合せ等については6,791件で18.2%である。

また、携帯電話からの通報は、18,472件で49.6%を占め、I P 電話からの通報は10,482件で28.2%、一般電話等からの通報は、6,726件で18.1%、上記以外からの通報は1,536件で4.1%である。

なお、前年と比較すると、携帯電話からの通報は93件増加、I P 電話からの通報は55件増加、一般電話等からの通報は474件減少した。

[119番通報受信状況]

(単位：件)

災害種別 通報種別		合計	災 害 通 報					緊急性のないもの			
			小計	火災	救急	救助	他の災害	小計	問合せ	間違い等	訓練他
合 計	R 6 年	37,216	30,425	366	28,335	395	1,329	6,791	2,223	1,971	2,597
	R 5 年	37,626	30,489	465	28,069	448	1,507	7,137	2,223	2,405	2,509
増 減		△ 410	△ 64	△ 99	266	△ 53	△ 178	△ 346	0	△ 434	88
携帯電話	R 6 年	18,472	15,241	245	14,204	262	530	3,231	1,464	1,420	347
	R 5 年	18,379	14,743	275	13,526	296	646	3,636	1,396	1,908	332
増 減		93	498	△ 30	678	△ 34	△ 116	△ 405	68	△ 488	15
I P 電話	R 6 年	10,482	9,447	44	9,317	24	62	1,035	341	167	527
	R 5 年	10,427	9,370	49	9,223	31	67	1,057	399	136	522
増 減		55	77	△ 5	94	△ 7	△ 5	△ 22	△ 58	31	5
一般電話	R 6 年	6,726	4,492	53	4,215	39	185	2,234	333	315	1,586
	R 5 年	7,200	5,040	104	4,703	47	186	2,160	345	326	1,489
増 減		△ 474	△ 548	△ 51	△ 488	△ 8	△ 1	74	△ 12	△ 11	97
上記以外	R 6 年	1,536	1,245	24	599	70	552	291	85	69	137
	R 5 年	1,620	1,336	37	617	74	608	284	83	35	166
増 減		△ 84	△ 91	△ 13	△ 18	△ 4	△ 56	7	2	34	△ 29

[市町別受信状況]

(単位：件)

受信件数 市町別	災害通報			緊急性のないもの		
	R 6 年	R 5 年	増 減	R 6 年	R 5 年	増 減
合 計	30,425	30,489	△ 64	6,791	7,137	△ 346
沼津市	12,803	12,742	61	3,378	3,522	△ 144
伊東市	6,223	6,260	△ 37	1,359	1,373	△ 14
伊豆市	2,363	2,384	△ 21	467	550	△ 83
伊豆の国市	3,843	3,654	189	600	630	△ 30
東伊豆町	1,086	1,221	△ 135	324	348	△ 24
函南町	2,152	2,300	△ 148	386	369	17
清水町	1,913	1,888	25	261	292	△ 31
管外	42	40	2	16	53	△ 37